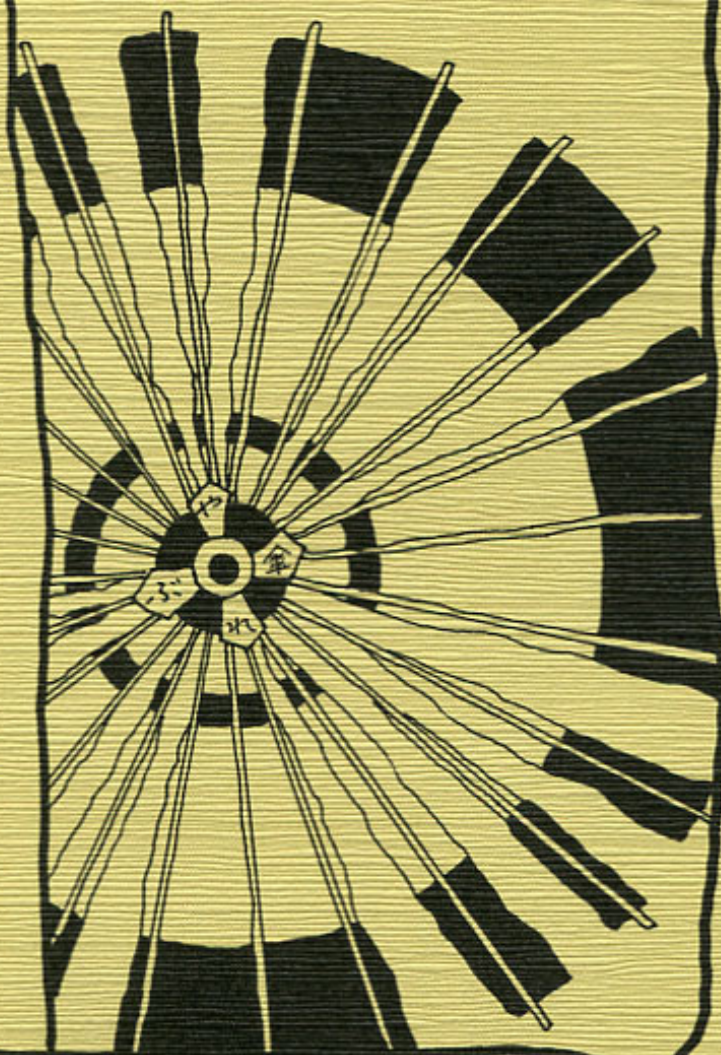


やぶれ傘

五十九号

二〇二一年四月



火も見えて畦焼く煙立ちにけり	根橋宏次
絡みたるなかに端ある蝌蚪の紐	きくちきみえ
裏庭に届く日差しや花はこべ	大島英昭
寒木瓜や日に日に威張る妻のこゑ	丑久保勲
また寒くなりけり涅槃西風吹いて	藤井美晴
餅ひとつ入れて昼餉の小豆粥	廣瀬雅男
城壁に隙間ありけり冬の蜂	瀬島洒望
紙飛行機蒲公英の野を旋回す	安藤久美子
冬星とわが影法師つき来たる	秋葉貞子
夜の雲流れてゐたる四日かな	國保八江
家崩しの音の響きや春隣	白右正躬
禅林の屋根のいろいろ梅香る	渡邊孝彦
銀杏並木まつたき銀杏黄葉かな	有賀昌子
華麗なる鉄の門扉や花ミモザ	久世孝雄
せせらぎの音と光や梅の花	齋藤朋子

抄 集 句 選 傘 紀 夫 大 崎 ぶ れ や

妻は手を振つてゐるらし冬茜	齋藤 博
枝打ちの音の広がる冬の山	眞田忠雄
年の夜の回路経し血の甦へる	篠崎善久
アフリカのもろき茶碗や初点前	鈴木昌子
大晦日顔いつぱいの蒸しタオル	武田紀久
氏神の新しき鈴風光る	都丸スミ代
上枝 ほづえ より鳥の声くる寒の朝	貫井照子
古札焼く煙からまる冬木立	橋本美代
沢庵の樽に探りの手を入れる	広瀬 済
孕猫一瞥投げて行きにけり	松本善一
寒の水白磁の盤に張られけり	浅嶋 肇
包丁の金気のにはふ春隣	天野美登里
気の迷ひほどの雪降る葬の朝	岩藤礼子
鳥総 とがさまつ 松くくられ御影石の門	小川 滋
冬の村薪に積み方あるらしく	奥田温子

葱 屑

大崎 紀夫

大 旦 陶 の 卵 は 皿 に の り
ぼ つ ペ ン の 音 は ぼ つ ペ ン 売 場 よ り
空 樽 の 上 に 猫 ゐ る 寒 の 入 り
人 日 の 雲 た ひ ら か に 並 び け り
葱 屑 の 小 さ き 山 に 日 と 風 と

冬波のしみゆく砂のひかりかな
人かげの煙に巻かれどんど焼
大寒の日に俎板をさらしけり
村の湯をうめるに雪を運びくる
吹流しだらりと牡丹雪の朝
武蔵野の雲なき昼の霞みけり
川をゆく風は海まで雪間草

蛙焼く煙

根橋宏次

悪太郎なれども町の初鳥
 鳥の影冬の青草過ぎりけり
 初髪の揚げまんぢゆうに並びぬる
 雪吊や餌に寄る鯉の混み合へる
 畦川にどんどの火屑こぼれけり
 新海苔や杭立ちならぶ舟溜まり
 臘梅や轍の縁の土乾き
 旧正や老酒ちゆうの甕立ちならび
 身じろげる馬の匂ひや春の雪
 火も見えて蛙焼く煙立ちにけり

蝌蚪の紐

きくちきみえ

薄氷雲より早く川流れ
残雪へト口箱の水捨てにけり
下萌えの中の何かを引く鴉
湯豆腐の湯気傾きて消えにけり
鶯の向きを変へつつ枝先へ
絡みたるなかに端ある蝌蚪の紐
雪止みし空のぼんやりしてゐたる
雪道の足跡に水たまりたる
薄氷の端より水へ混ざりゆく
裸電球海鼠の影を揺らしけり

花はこべ

大島英昭

常盤木に元日の風鳴りにけり
にぎはひの少し二日の神まうで
湧き出でし雲雪山のひとつとも
寒鯉や水かげろふを顔に受け
空映すひとすぢとなり寒の川
寒晴の小寺賑はふ葬儀の日
群れゐると言へばさうとも浮寝鳥
抱月の墓は大岩龍の玉
裏庭に届く日差しや花はこべ
山鳩のこゑすること水ぬるむ

寒木瓜

丑久保勲

藁を焚く煙の匂ひ大根畑
朝市のぶつの鮎鱈買ひにけり
街道をゆくダンプカー山眠る
左手の手袋左ポケットへ
木の匙で啜るラーメン冬灯
着膨れの農夫杭打つ畑かな
高橋を時雨に濡れて下りけり
寒木瓜や日に日に威張る妻のこゑ
待春や豆大福の粉こぼれ
男坂の残る寒さや瑞泉寺

小豆粥

廣瀬雅男

裸木の影を流れに神田川
笹鳴きを背に聞く五百羅漢かな
喜多院の仏に障子明りかな
峰二つ突き出す筑波寒の入り
餅ひとつ入れて昼餉の小豆粥
初午や王子稲荷へ風替へに
荒川に春一番の波立てり
二つ三つ咲き盆梅の香るかな
でこぼこに膨らむ畦や草萌えて
林道を閉ざす鎖や雉の声

涅槃西風

藤井美晴

黒富士の背そが向いに冬の夕焼かな
波消しに波砕け散る冬日射し
糞ひとつ残し寒禽翔ちにけり
提灯里の忌中に歸浄の墨字花八つ手
火照る骨こ拾ひて梅の風に出づ
喪の内うちの夜を猪鍋と濁酒
芝の上しばらく白し春の雪
きさらぎのひかりのなかをおんがわ
また寒くなりけり涅槃西風吹いて
雀五羽おくれて一羽夕霞

冬の蜂

瀬島洒望

乾きたる土の色見ゆ枯木山
柞枯れ古墳の姿現るる
城壁に隙間ありけり冬の蜂
撥ね炭に話の腰を折られけり
霜降りし田圃を始発電車かな
駄菓子へとつひ手が伸びる寝正月
大根の細きところを下ろしけり
初午や手摺に頼る男坂
孫に読む本五冊目や春の夜
駄菓子屋でありし空き地や花薺

◇ 5～6月の句会案内

月	日	時	句会名	会 場	連絡先
5 月	3日(火)	AM9:00	こなから会	戸田市中央公民館	大崎紀夫・WEP
	3日(火)	PM6:00	う ら ら 会	浦和コミセン	瀬 島 孟
	4日(水)	PM7:00	ぎ ん な ん 会	浦和コミセン	丑久保 勲
	6日(金)	AM10:00	NHK大崎教室	さいたまアリーナ	NHK文化センター
	6日(金)	PM6:00	な ご み 会	浦和コミセン	丑久保 勲
	21日(土)	PM2:00	セニョリータ句会	WEP俳句教室	藤 井 美 晴
	22日(日)	PM2:00	やぶれ傘句会	WEP俳句教室	WEP編集室
	25日(水)	PM6:00	三 斗 会	WEP俳句教室	丑久保勲・WEP
	28日(土)	AM10:00	楽 天 会	戸田市文化会館	廣 瀬 雅 男
6 月	3日(金)	AM10:00	NHK大崎教室	さいたまアリーナ	NHK文化センター
	3日(金)	PM6:00	な ご み 会	浦和コミセン	丑久保 勲
	6日(月)	PM7:00	ぎ ん な ん 会	浦和コミセン	丑久保 勲
	7日(火)	AM9:00	こなから会	戸田市中央公民館	大崎紀夫・WEP
	7日(火)	PM6:00	う ら ら 会	浦和コミセン	瀬 島 孟
	12日(日)	AM10:00	吟行会(下記注)	浦和・見沼	丑久保 勲
	18日(土)	PM2:00	セニョリータ句会	WEP俳句教室	藤 井 美 晴
	22日(水)	PM6:00	三 斗 会	WEP俳句教室	丑久保勲・WEP
	25日(土)	AM10:00	楽 天 会	戸田市教育センター	廣 瀬 雅 男
	26日(日)	PM2:00	やぶれ傘句会	WEP俳句教室	WEP編集室

(注) ぎんなん会は奇数月は第1水曜、偶数月は第1月曜です。

6月の第3日曜の19日はやぶれ傘10周年パーティですので、吟行は第2日曜の6月12日です。集合は10時。JR京浜東北線北浦和駅改札口。吟行地：見沼代用水西縁と周辺の農園。句会場：浦和駅東口バルコ10階浦和コミセン第10集会室。

◎ 連絡先 瀬 島 孟 ☎ 048-862-2757 藤 井 美 晴 ☎ 0422-55-2733
 大 島 英 昭 ☎ 048-592-5041 WEP編集室 ☎ 03-5368-1870
 廣 瀬 雅 男 ☎ 048-443-7522 浦和コミセン ☎ 048-887-6565
 丑久保 勲 ☎ 048-853-3856 WEP俳句教室 WEP編集室へ